

禍いもって福となす

運転免許を取得してから、早四十三年になる。昭和三十四年に軽免許、次の年に小型四輪免許を貰った。

軽免許の実技試験は一五〇CCのスクーターであった。原付免許は持っていて、九〇CCのバイクに乗っていたので、スクーターは初めてだったが、無事合格した。軽免許は大型二輪から、軽自動車まで運転できる。

免許取得後、マツダの軽四輪貨物自動車を買った。仕事やビジネスに乗り回していたが、物足りなくなり、翌年小型四輪免許試験を受け合格した後、ダットサンピックアップ（一二〇〇CC、六人乗り）に乗り換えた。

以来四十幾世窓、交通事故は一度も無く、スピード違反を二回した。その二回に、私なりのエピソードがある。

ダットサンの時だと思うが、妻と二人で塩釜神社にお参りに行った時、岩切から塩釜に入った所で速度違反で捕まった。四十キロ制限の所を十二〜三十キロオーバーした。前の車と同速度で走っていたが、前の車をやり過ぎし、私の車を停車させた。免許証を持って、警察官のいる机に腰掛け対峙した。十三キロオーバーだと告げられた。「ぶっして前の車と同速度で走っているのに、私だけを抑まえるのですか」と嫌味を言った。

「あんだの方が一キロ速い」の返事が返って来た。一キロ違っ

ても違反は違反だ。「一台捕まえればいいのに」と言おうと思ったが諦めた。

5千円の反則金切符を切られ、神社に参拝して帰った。家に帰っても、あの「あんだの方が一キロ早い」の声が頭から離れない。

私は若かったから「よし、国に5千円儲けさせるものか」と反逆を起こした。

折もおり二月だったから営業の確定申告の時であり、確定申告書は出来上がっていた。決算の複式簿記は自分でやり、税務署の書類調査でも御墨つきであった。思い立ちは不純であるが、帳簿を操作しようと考えた。

どこで5千円浮かせるかと、一年分の記帳を片っ端から調べ直した。そうしたらどうだろう、真正正銘、5千円どころか、三万何千円の納め過ぎを発見した。書類を書き直し、提出、納税した。

あの不愉快さを忘れ、あの「あんだの方が一キロ早い」と言っただお巡りさんに感謝したい気持ちになった。あの時お参りした塩釜神社の御利益ではなかったのかと、変に気を廻し、チヨッピリ反省した。

平成十四年十月十七日